

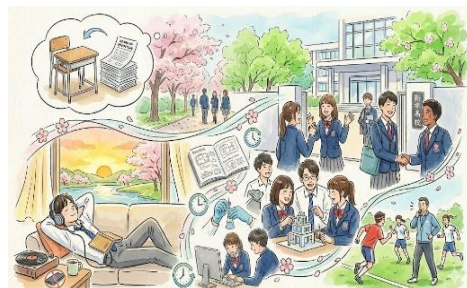
Go Beyond～今の自分を超えてゆけ！～

校長漫筆記

令和8年5月1日
姫路市立高校
校長通信 第4号
文責 平山智樹

「はじめて」を駆け抜けた一ヶ月

開校・入学から早いもので一ヶ月。生徒の皆さん、そして教職員の皆さん、本当にお疲れ様でした。



実は、この一ヶ月、誰よりも緊張し、誰よりも戸惑っていたのは、私かもしれません。私はこれまで小学校や教育委員会での勤務が長く、高校というステージは私にとっても「新しい挑戦」の場でした。

授業のスピードとその内容、学食で楽しそうに食事する風景、部活動に打ち込む真剣な眼差し……。見るもの聞くものすべてが新鮮で、実は毎日、心の中で「おお、これが高校生活か！」と圧倒される日々を過ごしていました。

そんな戸惑いの中にいた私を救ってくれたのは、他ならぬ生徒の姿でした。「校門で迎えるときや、廊下ですれ違う時の清々しい挨拶」「新しい仲間と一緒に、試行錯誤しながらも前向きに学ぶ姿勢。」そして、「何事にも真摯に向き合う先生方の熱意。」

皆さんがこの新しい学校に「命」を吹き込んでいく様子を見て、私は「この学校の校長になれて良かった」と、日に日に確信を深めています。

一方で、皆さんも期待と緊張が入り混じった中で、見えない疲れがたまっている頃ではないでしょうか。「新しい環境に慣れなきゃ」と、少し無理をして頑張りすぎてしまった人もいるかもしれませんね。

明日からは大型連休、ゴールデンウィークの後半が始まります。ここで皆さんにお願いしたいのは、「しっかりと英気を養う」ことです。

もちろん、部活動や趣味に打ち込むのも素晴らしいことですが、もし疲れを感じているなら、あえて「何もしない時間」を作ってみてください。

好きな音楽を心ゆくまで聴く。スマートフォンの通知をオフにして、ゆっくり読書をする。家族と何気ない会話を楽しみ、美味しいものを食べる……。

心と体を緩め、自分自身をメンテナンスする時間は、これから続く長い高校生活を走り抜くために、とても大切な「戦略的休息」です。

連休が明けたら、またこの学び舎に皆さんの元気な声に戻ってくるのを楽しみに待っています。心身ともにリフレッシュした皆さんに会えることを、心から願っています。よい休日を！